

テレビラック

SU-R300

取扱説明書

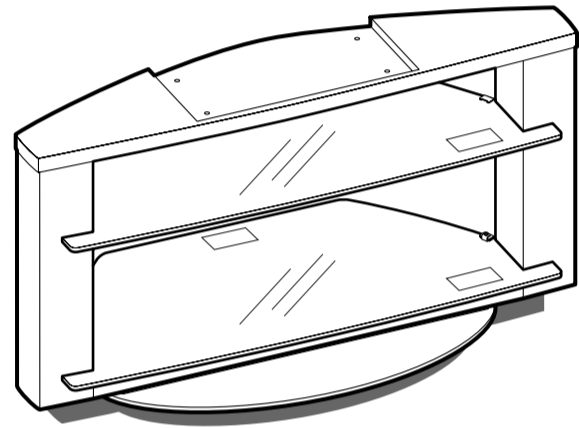
お買い上げいただきありがとうございます。

警告 安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

このテレビラックは、以下のソニー製の液晶デジタルテレビ専用です。ガラス棚板には、メディアレシーバーなどを収納するように設計されています。

対応テレビ
KDL-L30HX1
KDL-L32HX2
KDL-L28HX2



Sony Corporation © 2002 Printed in Japan



下記の注意事項を守らないと**火災・感電・転倒**により**死亡や大けが**の原因となります。

載せる機器は、指定の質量を超えないようにする指定の質量を超えると、ガラス棚板が割れたりして、破片が飛び散り、けがの原因となります。

傾いた床面に設置しない
傾いた床面に設置すると、テレビラックが転倒したり、設置している機器が落下したりして、けがの原因となります。

踏み台にしない
倒れたり、落ちたり、ガラス棚板が割れたりして、けがの原因となることがあります。

過熱した鍋、湯沸しなど熱いものを置かない
ガラス棚板が割れたりして、けがの原因となります。また、テレビラックを傷める原因となります。



ガラス棚板に強い衝撃を与えない
テレビラックには強化処理を施したガラスを使用していますが、絶対割れないわけではありません。割れると、破片が飛び散りけがの原因となりますので下記のことをお守りください。

- 物をぶつける、先端のものが物を落とすなど、強い衝撃を与えない。
- 鋭利な物で傷をつけたり、ガラス棚板を突いたりしない。
- 収納機器を設置するときに、ガラス棚板の端面にぶつけない。
- 掃除機で床面をすべらせて、下ガラス棚板の端面に当たらない。



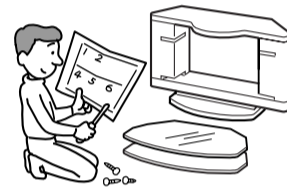
注意

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり**周辺の家財に損傷**を与えたりすることがあります。

指定のテレビ機器以外のものを載せない

- このテレビラックは指定のテレビ専用です。指定外のテレビや重い物を載せると、すべて落ちたり、壊れたりしてけがの原因となることがあります。
- 指定の機器以外のもの(陶器や花瓶など)は置かないでください。

組み立ては、手順に従ってしっかり組み立てる
ネジがゆるんでいたり抜けていると、テレビラックが歪み、テレビが転倒し、けがの原因となることがあります。特に飛出防止クランパーはガラス棚板の飛出し防止のため確実に取り付けてください。



ガラス棚板に力をかけない

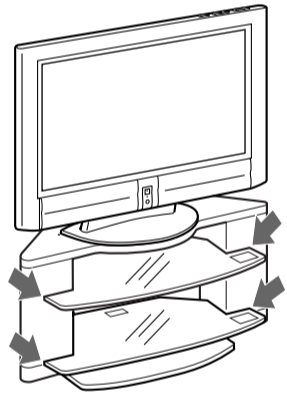
組み立てるときや、収納機器を設置するときに、ガラス棚板に手をつけて体重をかけたり、ドライバーなど硬いものを落としたりしないでください。ガラス棚板が割れて、けがの原因となることがあります。

ガラス棚板同士をぶつけない

ガラス棚板が割れて、けがの原因となることがあります。

指をはさまないように注意する

ガラス棚板を取り付けるときは、ガラス棚板とテレビラックの隙間に指などをはさまないようにご注意ください。



固くて平らな床面に設置する

設置場所は、固くて平らな床面にしてください。設置場所によってはテレビラックの変形や傾きが生じることがありますので、下記のことをお守りください。

- 畳、じゅうたん、カーペットなどの上に置くときは板など固い物を敷く
- 直射日光が当たる場所や、暖房器具のそばに置かない
- 高温多湿の場所や屋外に置かない

ガラス棚板の部分を持って動かさない

テレビラックを動かすときは、ガラス棚板の部分を持たないでください。ガラス棚板が落下して破損したり、金具が壊れたりする原因となります。

収納機器を設置したまま動かさない

機器を設置したまま、テレビラックを動かさないでください。ガラス棚板が割れたり機器が落下したりして、思わぬ事故の原因となります。

押ししたり引いたりしない

テレビラックを動かすときは、押ししたり引いたりしないでください。ガラス棚板が落下してけがをしたり、金具が壊れたりする原因となります。

警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかしまちがった使いかたをすると、火災・感電・転倒などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために安全のための注意事項を必ずお守りください。

警告表示の意味

取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・転倒などにより死亡や大けがなどの人身事故につながる可能性があります。

注意 この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損傷を与えたりすることがあります。



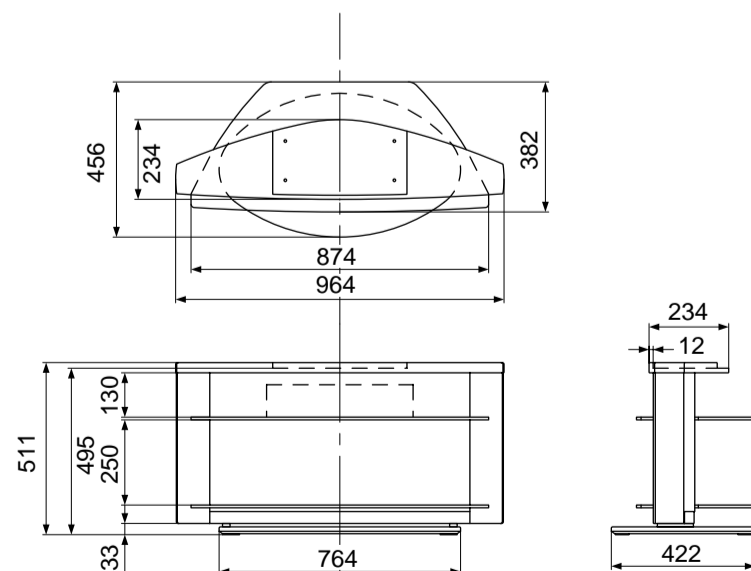
使用上のご注意

美しい状態でお使いいただくためときどき柔らかい布で、から拭きしてください。汚れがひどいときは食器用洗剤を5~6倍に薄め、柔らかい布に含ませて軽く拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの化学薬品はテレビラックの仕上げを傷めることがありますので、使わないでください。

主な仕様

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

単位：mm
質量：約26 kg



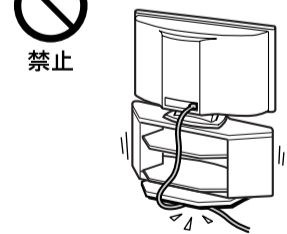
テレビラックにテレビを載せた状態で、テレビにぶら下がらない

テレビが転倒して、大けが、死亡などの原因となります。



テレビや収納機器のコードをはさまないようにする

- テレビなどをテレビラックに載せるとき、電源コードをはさまないようにする。
- テレビラックを動かすとき、電源コードを踏まないようにする。コードに傷がついて火災や感電の原因となります。



ガラス棚板の上に乗ったり、ガラス棚板の間に入って遊ばない

お子様がガラス棚板の上に乗ったり、ガラス棚板の間に入って遊んだりすると、ガラス棚板が割れたり、テレビが倒れて、大けがや死亡の原因となります。



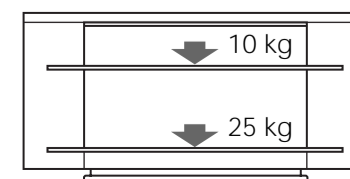
● <http://www.sony.co.jp/SonyDrive/>
● お客様相談センター
● ナビダイヤル 0570-00-3311
(全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます)
● 携帯電話・PHSでの利用は 03-5448-3311
(ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください)
● FAX 0466-31-2595
受付時間：月~金 9:00~20:00 土・日・祝日 9:00~17:00
お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

eco info この説明書は100%古紙再生紙とVOC(揮発性有機化合物)ゼロ植物油性インキを使用しています。

ガラス棚板の積載量について

それぞれのガラス棚板には、図に示す質量以上のものを載せないでください。ガラス棚板を破損する恐れがあります。なお、このテレビラックの総積載量は、テレビの質量とガラス棚板に載せる質量の合計になります。



手順1：組み立てに必要な部品を確認する

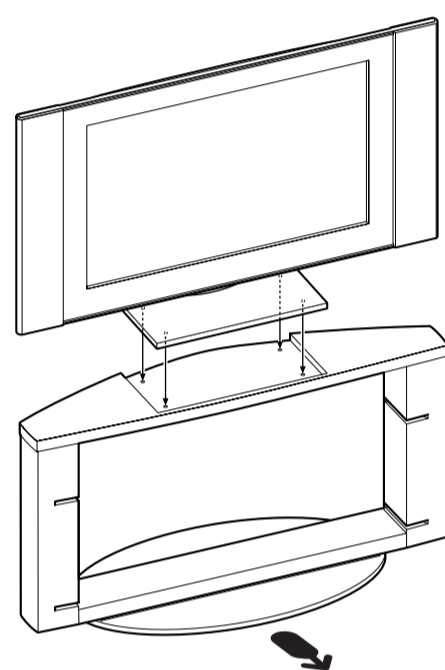
組み立てる前に⊕ドライバーをご用意ください。

名称	数量	名称	数量
テレビラック	1	飛出防止クランパー (一体型ネジ付き)	4
ガラス棚板	2	ネジとワッシャー ⊕ 4 × 30 mm	4

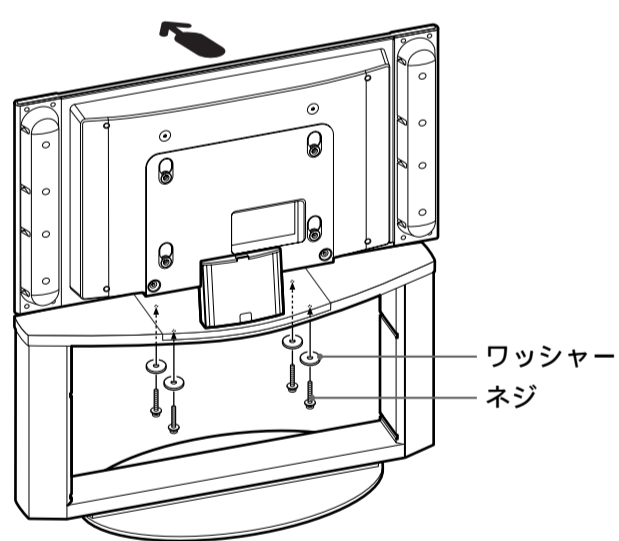
◀ 矢印は正面方向を示します。

手順2：テレビを載せてネジで固定する

- 1 テレビスタンドを、テレビラック天板上面の凹部に載せる。テレビスタンドとテレビラック凹部の前側を合わせるようにして、はめ込んでください。

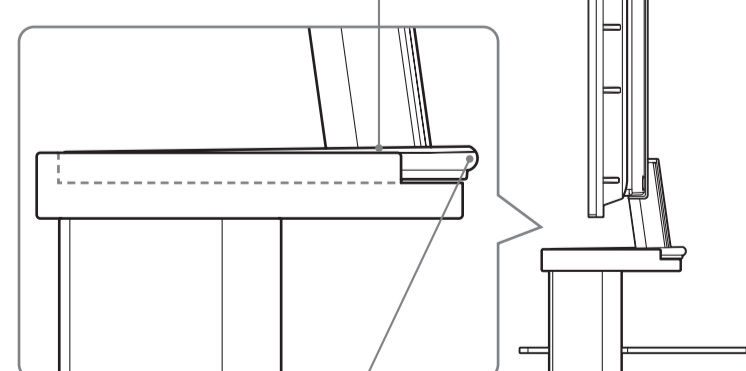


- 2 4か所を、ネジで留める。ネジにワッシャーを通し、天板の下側からネジを⊕ドライバーで固定する。

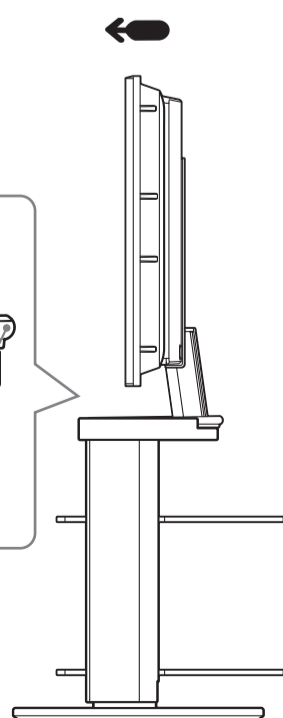


- 3 正しく設置できているか確認する。正しく設置されると下の図のようになります。

正しくディスプレイを載せると、ラックの天板に対してディスプレイのスタンド面は斜めになります。(KDL-L30HX1の場合)



正しくディスプレイを載せると、ディスプレイのスタンドが、ラック天板に対し、奥行き方向で最大約8 mm後ろに出ます。



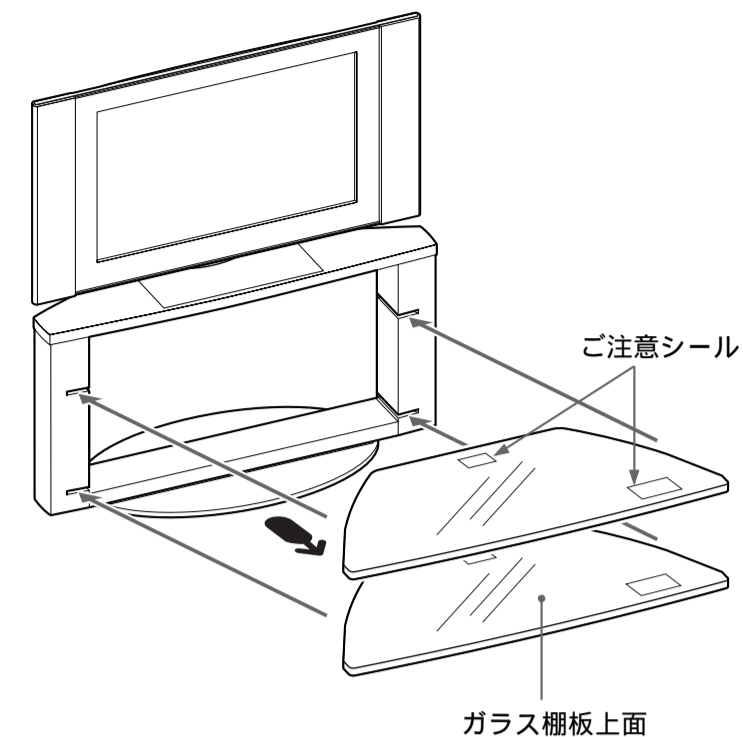
手順3：ガラス棚板を取り付ける

ガラス棚板は、2枚同一形状です。

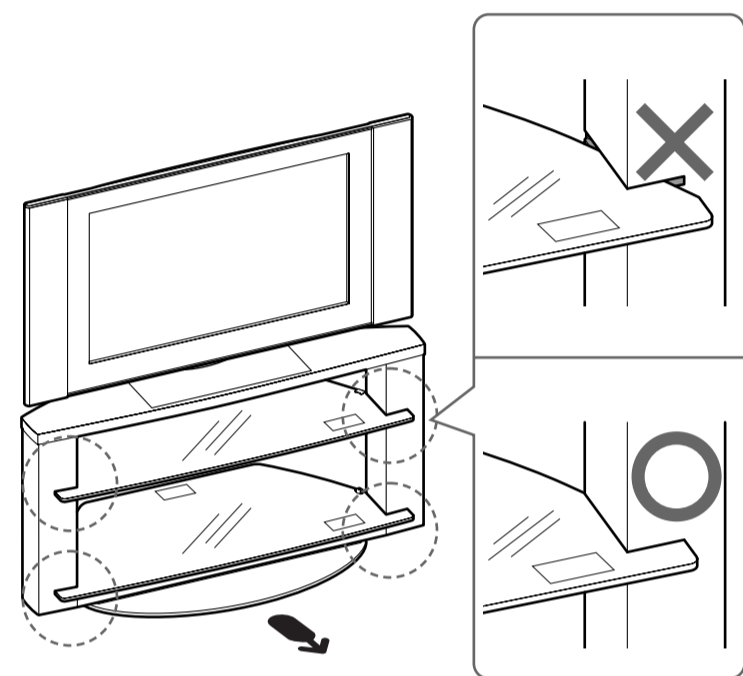
- 1 ガラス棚板を支柱の切り込み部分に差し込む。ご注意シールが貼ってある面を上にして、差し込んでください。

ご注意

- ガラス棚板は、上段から取り付けてください。
- ガラス棚板を落とさないようにご注意ください。
- ガラス棚板を載せるときには、ガラス棚板の上に手を置いたり、ガラス棚板の端を支柱や棚用金具にぶつけないようにご注意ください。



- 2 ガラス棚板がしっかりと固定されていることを確認する。



- 3 飛出防止クランパーを取り付ける。

- 1 飛出防止クランパーを矢印方向に奥までしっかりあて、ガラス棚板にはめる。

右図のように、上段のガラス棚板には飛出防止クランパーの一体型ネジを下向きに、下段のガラス棚板には飛出防止クランパーの一体型ネジを上向きにして取り付ける。

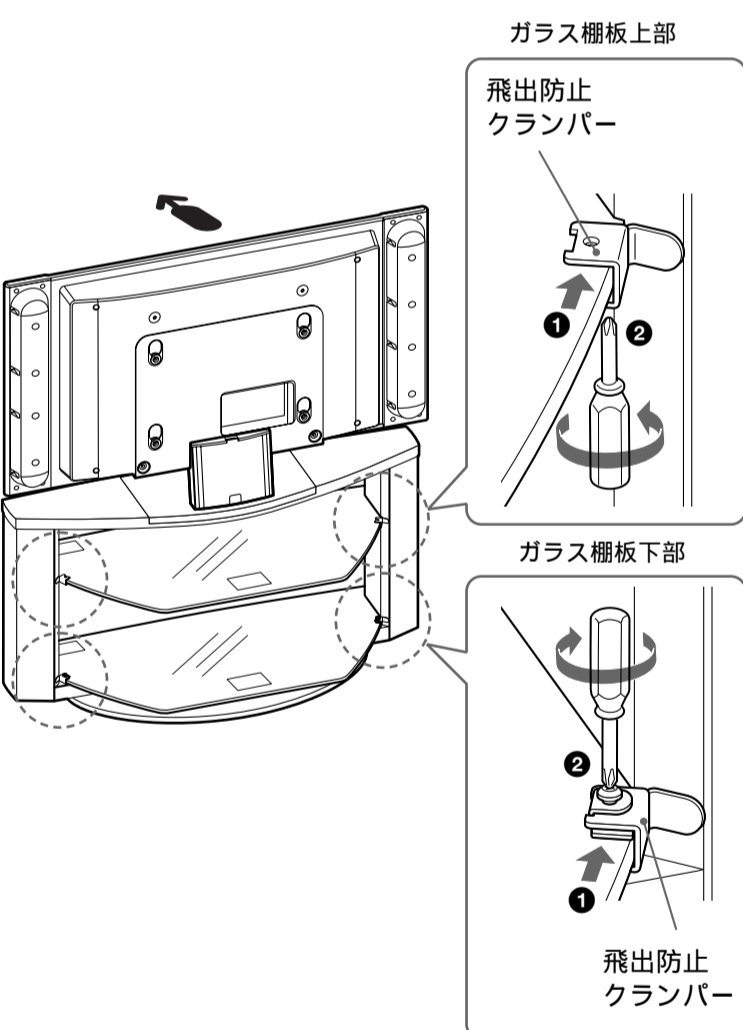
- 2 ⊕ドライバーで飛出防止クランパーの一体型ネジを締め、ガラス棚板を固定する。

ちょっと一言

飛出防止クランパーを取り付けるときは、ガラス棚板を片方の手で押さえるなどして、ずれないようにしてください。

ご注意

- 飛出防止クランパーを取り付けるときは、手や指をささないようにご注意ください。
- 飛出防止クランパーが、しっかりと固定されていることを確認してください。



手順4：メディアレシーバーなどを設置する

- 1 メディアレシーバーなどを設置する。上段にはメディアレシーバーを、下段にはビデオ機器などを設置する。

ちょっと一言

上段にメディアレシーバーを設置した場合、メディアレシーバー上面と天板との間隔が、テレビ本体付属の「安全のために」に記載されている間隔より狭くなりますが、このテレビラックは後面が開放されているので、熱がこもる恐れはありません。

ご注意

- 通風孔をふさがないようにメディアレシーバーの左右にはそれぞれ5 cm間隔を空けてください。
- 収納機器の接続がすべて完了してから、電源コードをコンセントにつないでください。

